

化学療法目的に入院しリハビリテーションを行った患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センターリハビリテーション科では、「化学療法目的に入院した高齢がん患者へのリハビリテーション訓練の実施状況および化学療法前後での身体機能変化の検証」を行うことになりました。

この研究の目的は、化学療法目的に入院した 65 歳以上の患者さんのリハビリテーションの実施状況と身体機能を調べて、リハビリテーションの実施率が身体機能にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2020 年 8 月 1 日より 2021 年 8 月末までに治療した方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのは化学療法とリハビリテーション訓練を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報訓練の実施状況、検査データ、身体機能評価の値のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021 年 10 月

研究責任者

東京医療センター リハビリテーション科

河口 大洋

連絡先 03-3411-0111(代表)